

一般会計予算決算常任委員会記録

令和3年3月9日

【開催日】 令和3年3月9日

【開催場所】 議場

【開会・散会時間】 午前10時～午前11時

【出席委員】

委員長	矢田松夫	副委員長	河野朋子
委員	伊場勇	委員	大井淳一朗
委員	岡山明	委員	奥良秀
委員	河崎平男	委員	笹木慶之
委員	水津治	委員	杉本保喜
委員	高松秀樹	委員	恒松恵子
委員	中岡英二	委員	中村博行
委員	長谷川知司	委員	藤岡修美
委員	松尾数則	委員	宮本政志
委員	森山喜久	委員	山田伸幸
委員	吉永美子		

【欠席委員】 なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰		
----	-----	--	--

【傍聴議員】 なし

【執行部出席者】

副市長	古川博三	総務部長	川地諭
企画部長	清水保	市民部長	川崎浩美
福祉部長	兼本裕子	経済部長	河口修司
建設部長	森弘健二	教育長	長谷川裕
教育部長	岡原一恵	総合事務所長	篠原正裕
財政課長	山本玄		

【事務局出席者】

事務局長	尾山邦彦	事務局次長	石田隆
議事係長	中村潤之介	事務局書記	原田尚枝

【付議事項】

1 議案第1号 令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第19回）に

ついて

- 2 承認第1号 令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）に関する専決処分について
- 3 承認第2号 令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第18回）に関する専決処分について

午前10時開会

矢田松夫委員長 ただいまから一般会計予算決算常任委員会を開会します。本日の審査日程については、お手元に配付してある日程の内容で進めていきたいと思っております。それでは議案第1号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第19回）について、各分科会での審査が終了しましたので、分科会会長の報告を求めます。最初に総務文教分科会会長。

（河野朋子総務文教分科会長 登壇）

河野朋子総務文教分科会長 それでは本議案のうち、総務文教常任委員会所管部分について、2月24日に委員全員出席の下、総務文教分科会を開催し、慎重審査しましたので、その内容について報告します。まず概要ですが、今回の補正の主なものは、歳入では寄附金、市税、繰入金の減額、歳出では、議会費において視察旅費、総務費において厚狭地区複合施設費の減額、消防費の減額、教育費においてGIGAスクール推進事業、埴生地区複合施設整備事業等の減額を行うものです。審査で明らかになったことは、歳入では1款市税で市民税7,000万円の減額は、企業の収益減と徴収猶予の特例が設けられたため。固定資産税1億6,700万円の減額は、徴収猶予の特例が設けられたためです。19款繰入金では、財政調整基金繰入金3億1,422万2,000円の減額。これにより、令和2年度末の予算上の残高が37億6,102万1,000円となります。22款市債では、減収補填債8,000万円の増額は、国において特例として、減収補填債の対象税目が拡大され、市たばこ税、地方揮発油譲与税、地方消費税交付金、ゴルフ場利用税交付金が当該特例措置の対象となったためです。歳出では、1款議会費において視察旅費567万3,000円の減額は、新型コロナウイルスの感染拡大により、議長会等の会議が書面会議となったり、他市への行政視察を行うことができなかつたりしたためです。2款総務費において厚狭地区複合施

設費 5 9 5 万円の減額は、警備委託料、清掃委託料の入札減などのため。9 款消防費において、常備消防費 1, 3 4 8 万 6, 0 0 0 円の減額は、宇部・山陽小野田消防組合費分担金の減額で、人事院勧告による期末手当支給月数の引下げや、各種事業費の不用額の精算等のためです。非常備消防費 1, 0 4 5 万円の減額は、新型コロナウイルスの感染拡大により会議、消防操法訓練、消防操法大会、消防出初式を中止したためです。ここでの主な質疑は、「訓練等が中止になったが、どのように補ったのか」との質問に「操法大会、操法訓練等のための訓練は中止をしたが、月に 1 回程度、各分団の訓練は実施している」との答弁でした。次に 1 0 款教育費の G I G A スクール推進事業では、小学校費 1 億 6, 9 1 9 万円の減額、中学校費 8, 8 6 1 万 4, 0 0 0 円の減額です。これは他市との共同調達により、大幅に端末の購入費が下がったためです。埴生地区複合施設整備事業費の工事請負費 5, 4 1 8 万 2, 0 0 0 円の減額は、入札減などのためです。ここでの主な質疑は、「実際にタブレット端末を使った授業等、活用が始まっているのか」との質問に「1 2 月に現場の教職員と校長会代表で I C T の推進委員会を作って、4 回会議をした。早い学校では児童生徒と一緒に使って、授業で使うにはどういう方法が一番効果的か考えている」との答弁がありました。「埴生地区複合施設整備事業の工事請負費で、解体が 3, 8 7 7 万 5, 0 0 0 円となっている理由は」との質問に「入札契約額が 2, 1 4 5 万円で、今後の増加幅を最大 3 割と見込み、工事価格を 2, 7 8 8 万 5, 0 0 0 円と見積もった。この額から、前払金 8 5 0 万円を差し引いた額が、この度、繰り越す 1, 9 3 8 万 5, 0 0 0 円であり、不用額が 3, 8 7 7 万 5, 0 0 0 円となる」との答弁でした。また、繰越明許費補正では、高度無線環境整備推進事業 5, 8 1 0 万円ですが、これは、当初 1 0 月初旬に国から交付決定を受ける予定でしたが、1 1 月後半となり、事業着手に 1 か月半程度遅れが生じた上、既設電柱の移設が必要となり、地権者との折衝にも時間を要したため」です。L A B V アドバイザリー業務 1, 1 0 0 万円ですが、事業構想の策定には、市、小野田商工会議所、山口東京理科大学、山口銀行の 4 者間で十分な協議・調整が必要ですが、新型コロナウイルスの感染拡大により、4 者で集まることができず、3 月末までの事業構想の策定が困難となったため計上しています。ここでの主な質疑は、「国からの交付決定がずれた理由は何か」との質問に「申請件数が国の想定より多く、審査等に時間を要したと推測している」との答弁。「L A B V アドバイザリー業務の成果物はいつ提出されるのか」との質問に「新年度が始まって、早い段階で成果物が上がるように努めたい」との答弁がありました。以上で報告を終わります。委員各位の慎重審議のほど、よ

ろしくお願いします。

(河野朋子総務文教分科会長 降壇)

矢田松夫委員長 総務文教分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。

藤岡修美委員 埴生地区複合施設整備事業費ですけれども、主な質疑の中で、入札契約額2,145万円で、今後の増加幅を最大3割と見込んでということで、600万円ちょっとの変更額を見込んで、2,788万5,000円と見積もっておられるんですけども、この解体工事については、かなりの低落札の割合だったと記憶しておりまして、現実には600万何がしかの金額を見込んでいるということです。その請負率というか、落札率を考慮すると、5割の落札率にしても、1,200万何がしの設計上の変更増が見込まれないと、こういった金額は出てこないんです。かなりの金額ですけれども、その根拠というか、なぜそういった金額が増えるかというような審議があったのでしょうか。

河野朋子総務文教分科会長 この事業に関しては、先ほど報告しましたように、予定価格が5,500万円近くあったものが、入札契約額が2,100万円ということで、落札率がかなり落ち込んでおりますけれども、それに対して、今後増加すると見込まれる額を3割、今言われたように643万何がしかですけれども、それを見込んで、工事価格を2,788万5,000円というふうに設定しております。これについて、工事の内容というか、落札率の割合からしてどうなのかというような質問だと思うんですけども、執行部から3割について、想定しなかった素材とかアスベストが出てきたりとかということが想定されるので、3割を見込んだというような答弁にとどまっておりますし、それに対して、委員も3割を見込んだということで、具体的にまだどういった事象が起きてくるかということを確認されているわけではないですねというような質問に対しましては、執行部のほうから、全て出てきているわけではないが、既に調査に入っている中で、少しずつ増額の現象が出てきているというような答弁がありました。今の御質問のような落札率に関わって、工事の価格がかなり高額じゃないのかというようなことについての質疑は、分科会の中では出ておりませんでした。

矢田松夫委員長 ほかに御質疑ありませんか。(「なし」と呼ぶ者あり) それで

は以上で質疑を終わります。次に民生福祉分科会の報告を求めます。

(大井淳一郎民生福祉分科会長 登壇)

大井淳一郎民生福祉分科会長 去る2月24日、分科会員全員出席の下、実施しました民生福祉分科会の担任事項について、お手元の報告概要に従って御報告します。今回の補正は、生活保護費国庫負担金償還金の増額など、取り急ぎ措置すべき案件に加え、山陽地区公立保育所整備事業や自立支援医療給付費の減額などの決算を見込んだ補正です。歳出のうち、2款総務費、1項19目19節防犯外灯設置補助金300万円の減額は、申請件数が当初見込みより減少したことによるものです。1項21目8節報償金50万2,000円の減額は、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、施設等に出向いてコンサート等を行うアウトリーチ事業を中止したことによるものです。主な質疑ですが、「LED外灯が普及したことを受けて、今後、計画の見直しをするのか」との質問に「LED外灯の設置が頭打ちとなったわけではなく、少しずつ件数は伸びていく」との答弁。「アウトリーチ事業は、今後開催するのか」との質問に「今後も引き続き開催したいと考えている」との答弁でした。3款民生費、1項2目20節自立支援医療給付費の更生医療分1,300万円の減額は、生活保護受給者のうち、該当者が減少したことによるものです。2項2目19節保育所等におけるICT化推進等事業150万円の増額は、私立保育所等が、保育士の業務負担軽減を図るため、ICT等を活用した業務システムを導入した場合に、その費用を補助するものです。主な質疑ですが、「更生医療の該当者はどれぐらいいるのか」との質問に「現在、247人の受給があり、そのうち生活保護受給者は11名である」との答弁。「ICT化推進等事業は、公立保育所も対象となるのか」との質問に「公立保育所も対象である。令和4年度開園予定の新保育園への導入を検討している」との答弁でした。4款衛生費、1項1目13節妊婦健康診査委託料553万6,000円の減額は、妊娠届出数が当初見込みより少なかったことに伴い、健診の対象者が減少したことによるものです。主な質疑ですが、「妊娠届出数が年々下がってきている実態があるのか」との質問に「昨年と比較して、そこまでは減少していないが、今後も減っていくと考えている」との答弁でした。繰越明許費、一般廃棄物焼却施設補修事業4,766万3,000円は、新型コロナウイルスの影響により、施工材料と作業員の手配がスムーズに行われず、年度内の施工完了が困難となったため、次年度に繰り越すものです。主な質疑ですが、「現在の操業に何か問題は起きているのか」との質問に「直接的に

は運営管理に大きな支障は出ていないが、非常に厳しい状況が続いている。できるだけ早めに修繕したいと考えている」との答弁でした。以上で民生福祉分科会の報告を終わります。

(大井淳一郎民生福祉分科会長 降壇)

矢田松夫委員長 民生福祉分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。

山田伸幸委員 先ほどの報告で保育士の負担軽減ということで、ICT等を活用した業務システムというふうに説明をされました。これを導入した費用の補助が計上されているわけですが、こういった保育の現場というのは、基本的には人の手が主に必要とされるんですが、ICTがどのように保育の業務の中で生かされていくのか、どのように使われていくのか、そして、どのような負担軽減になるのか説明があったのでしょうか。

大井淳一郎民生福祉分科会長 この事業についてもう少し詳しく説明してもらえないかとの質疑がありました。対象事業については、保育士の業務負担を軽減するために、三つの機能を持ったICTのシステム、三つの機能と申しますのは、保育に関する計画、記録に関する機能と園児の登園及び降園の管理に関する機能、保護者との連絡に関する機能といった三つの機能を有するシステムを導入した場合に補助するということですので、先ほどの保育の計画と記録、それから園児の登園、降園の管理、保護者との連絡、この3点について、業務負担が軽減されるとの説明でした。

矢田松夫委員長 ほかに御質疑はありませんか。「なし」と呼ぶ者あり) 質疑なしと認めます。次に、産業建設分科会の報告を求めます。

(中村博行産業建設分科会長 登壇)

中村博行産業建設分科会長 議案第1号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算(第19回)の産業建設分科会担任事項について、2月25日、委員7人全員出席の下、産業建設分科会を開催し、慎重審査しましたので、事業の内容、主な質疑について報告します。まず、概要です。今回の補正は、決算を見込んだ事業費の精算等の取り急ぎ措置すべき案件についての補正です。まず、4款衛生費から行きます。1項3目環境衛生

費、19節負担金、補助及び交付金1,270万円の減額は、本年度の補助金交付実績を考慮したものです。ここでの主な質疑では、「浄化槽の設置実績の見込みは」との質問に「新規設置は48件で、単独浄化槽から合併浄化槽への転換が6件である」との答弁がありました。次に労働費です。1項1目労働諸費、13節委託料の就労支援業務委託料250万円の減額は、子育て女性等就職応援事業を新型コロナウイルス感染症拡大により中止したものです。次に、6款農林水産業費、1項1目農業委員会費、1節報酬801万5,000円の減額は、農業委員と農地最適化推進委員の交付金に関連する能率給を減額するものです。1項4目農地総務費、19節負担金、補助及び交付金の多面的機能支払い制度補助金269万8,000円の減額と、5目土地改良事業費、13節委託料のハザードマップ作成委託料199万円の減額は、補助金の内示額が申請額を下回ったことによるものです。19節負担金、補助及び交付金の県事業負担金296万9,000円の増額は、土地改良事業については、国の補正に伴う増額、農業競争力強化農地整備事業については、国の補正に伴う増額と内示額が申請額を下回ったことによる減額の差引きによるものです。3項3目漁港建設費、13節委託料の設計委託料340万円の減額は、入札減によるもの。15節工事請負費3,499万9,000円の減額は、埴生漁港整備事業に係る補助金の内示額が申請額を下回ったことによるものです。ここでの主な質疑では、「多面的機能支払い制度補助金の内示割れについて説明を」との質問に「当初、国への申請額は1,402万4,000円であったが、内示額は1,150万5,948円となり、要求額の81%となった」との答弁。次に、「ハザードマップの作成状況は」との質問に「防災重点ため池94か所について作成する予定で、昨年度32件、本年度29件、来年度33件を作成する」との答弁。「94件全て国費100%か」との質問に「そのとおりである」との答弁がありました。次に7款商工費です。1項1目商工総務費、13節委託料のデマンド型交通運行業務委託料206万7,000円の減額は、入札減によるもの。バス路線再編支援業務委託料304万7,000円の減額は、コンサルタント業者を決定するプロポーザルを実施できなかったことによるもの。19節負担金、補助及び交付金の地方バス路線維持費補助金2,370万3,000円の増額は、新型コロナウイルス感染症拡大により、乗車人数や収入が減少したため、補助金を増額するものです。21節貸付金の金融機関預託金1,500万円の減額は、今年度の実績に鑑み、各金融機関に追加で預託する必要がないと判断したことによるものです。主な質疑では、「バス事業者への補助金は、国費、県費も含めて、総額は幾らになるのか」との質問に「令和2年度実績で

1億9,707万7,000円である」との答弁。「デマンド交通の運行業者が変わることには問題はないか」との質問に「仕様書は前回事業者と全く同じであり、サービスの低下はないと考える」との答弁。「入札の状況はどうだったのか」との質問に「市内業者5社に声を掛け、2社の参加があった。入札額は約2,000万円と約2,700万円であった」との答弁。次に、土木費です。2項4目道路新設改良費2,302万2,000円の減額は、国の補助金が事業費の87%にとどまったため補正するもの。3項1目河川管理費、15節工事請負費2,847万4,000円の減額は、完了した東下津内水対策施設整備事業に伴うもので、入札減によるもの。2目砂防費1,169万4,000円の減額は、がけ崩れが発生した角石地区の対策事業で、内示額が申請額の85%にとどまったことによるもの。4項1目港湾管理費、19節負担金、補助及び交付金の県事業負担金2,842万3,000円の減額は、県から事業見込額が提示されたことから補正するもの。5項1目都市計画総務費、13節委託料の調査委託料152万1,000円の減額は、用途地域等の見直しに関する業務の入札減によるもの。19節負担金、補助及び交付金の県事業負担金2,200万円の減額は、県事業に対する社会資本整備総合交付金が、要求額より減額されたことに伴い、事業費が減額となったことによるもの。4目都市再生整備事業費、15節工事請負費2,047万7,000円の減額は、地権者との用地交渉が不調となったことによるもの。17節公有財産購入費の用地購入費596万8,000円の増額は、上述の用地交渉不調により、市道橋の施工ができなくなったため、山陽小野田警察署北側の市道の一部を施工することとし、必要な用地を購入するもの。22節補償、補填及び賠償金の補償金421万3,000円の減額は、地権者との交渉が不調に終わったことによるもの。ここでの主な質疑では、「新開作二軒屋線整備事業はいつ完了の予定か」との質問に「当初令和3年3月31日までに、県から認可を受ける予定であったが、現在、認可延伸の途中で、完成時期はまだ伺っていない」との答弁。「小野田駅前の用地交渉が不調に終わった影響は」との質問に「沖中川から西側の中通商店街に通じる道路は完成できなくなったが、沖中川の東側に造る日の出公園にアプローチする3本の道路は、予定どおり完成する見込みである」との答弁。「がけ崩れ災害緊急対策事業は、どのような工法の工事をするのか」との質問に「4種類程度の工法の比較を行い、国と協議を進めている」との答弁がありました。以上で産業建設分科会の報告を終わります。委員各位の慎重審議をよろしく申し上げます。

(中村博行産業建設分科会長 降壇)

矢田松夫委員長 産業建設分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。御質疑はありませんか。

山田伸幸委員 ちょっと確認させていただきたいんですが、この委員会全体会の質疑は一問一答でよろしかったでしょうか。

矢田松夫委員長 はい、そのとおりに進めてください。

山田伸幸委員 それでは、商工費について、地方バス路線維持費補助金2,370万円と、かなりの金額の増額になりました。先ほどもあったように、総額で2億円近い補助金になるわけですが、乗車人数、売上げの減少というふうに言われたんですが、具体的にどの程度の人数が見込みより減ったのか。それはきちんと説明があったでしょうか。

中村博行産業建設分科会長 具体的な人数等々の説明は受けておりません。ただ、この計算方法について質問がありまして、いろいろ詳細にわたる計算方法、何々が20分の9とかいった細かい計算方法があって、最終的に市の負担金がこういうふうになったと、増額がこういうふうになったという説明は受けております。

山田伸幸委員 この地方バス路線は今後見直しが進められると思いますので、委員会におかれましては、それをしっかりやっていただきたいと思えます。次に土木費に行きます。道路新設改良費2,300万円の減額。先ほどの説明では、国の補助金の事業費が87%になったということですが、これはもともと100%を国の補助ということで見積もっていて、これが減額となったのか、それとも見積り段階で100%計上すべきではなかったのか、その点いかがでしょうか。

中村博行産業建設分科会長 細かな質疑はありませんでしたが、これについては最終的に87%になったということで、当初の金額との比較はしておりません。

山田伸幸委員 それと都市再生整備事業についてです。先ほどの説明で、工事請負費の減額、地権者と用地交渉が不調に終わったという説明をされました。ほかの路線は問題なく進むというふうな説明もありましたが、実

際にこの用地を使つての事業が、遅れは当然出てくるわけですが、それについて、今後の取組等、何か説明があつたでしょうか。

中村博行産業建設分科会長 交渉が不調に終わったということで、詳細についてはなかなか難しいので、説明は避けたいということでした。したがって、先ほども申しましたように、この代わりと言つたらおかしいんですけども、山陽小野田警察署北側に新たに用地を購入して、そういう関連の道路を付けるということを聞いております。

山田伸幸委員 要するに不調に終わった用地交渉は、このまま引き続き交渉を続けていくのかどうなのか、その点はいかがですか。

中村博行産業建設分科会長 市道橋をつけるということ自体が、もう難しいということですよ。

矢田松夫委員長 ほかの委員の方で御質疑はありませんか。

笹木慶之委員 農林水産業費の農業委員会費の中で、801万5,000円の報酬減額があります。理由は、能率給を減額するものということですが、農業委員と農地適正化推進委員の活動に関するものだという理解をしておりますけれども、当初予算を幾ら見て、これだけの減額になつたのか。果たして、正常な業務がなされたのかという質問はございませんでしたか。

中村博行産業建設分科会長 細かい説明、様々な予算で減額等々があつたようです。大きく申しますと能率給ということで、新規農業者等々、農地の集積等は進んで、130万円ぐらいのアップということであつたんですけども、逆に、耕作放棄地を解消するところが全くできていなかったので、その辺の減額につながつたということです。

笹木慶之委員 耕作放棄地の件が今取り沙汰されましたが、そのことによる行政効果といいますか、その辺りのことについてはいかがが御審議されたでしょうか。

中村博行産業建設分科会長 そういったところまでは踏み込んだ審査はしておりません。

矢田松夫委員長　ほかの委員で御質疑はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）
それでは以上で質疑を終わります。次に新型コロナウイルス感染症対策分科会の報告を求めます。

（高松秀樹新型コロナウイルス感染症対策分科会長　登壇）

高松秀樹新型コロナウイルス感染症対策分科会長　それでは新型コロナウイルス感染症対策分科会の報告をします。議案第1号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第19回）について、2月26日に委員全員出席で行いました。まず概要ですが、企画課分として、2款総務費、1項総務管理費、31目新型コロナウイルス対策費、19節負担金、補助及び交付金、新生児応援金事業費500万円の減額は、新生児一人につき10万円の支給で、当初400件の交付を見込んでいたが、先週までの出生件数は263件。そのうち申請件数は250件となり、年度末に向けて、今年度予算の余剰が見込まれるため、実績を鑑み減額する。なお、当該事業は対象となる新生児の誕生日を令和3年4月1日まで、申請期限を令和3年6月までとしているため、来年度予算に50人分に相当する500万円を計上しています。子育て支援課分としまして、3款民生費、2項児童福祉費、10目新型コロナウイルス対策費を2,440万円増額し、9,025万6,000円とするもの。内容は、一時預かり等の事業を実施する保育施設等に対して、保育所等は1施設当たり、事業実施については、1事業当たりで定められた補助基準額の範囲内で、感染症対策に必要な消耗品や備品等を購入し、又はその購入費用に対して補助する費用です。健康増進課分としまして、4款衛生費、1項保健衛生費、8目新型コロナウイルス対策費、11節需用費、消耗品費のうち、526万4,000円の減額と、13節委託料、検査委託料2,852万2,000円の減額は、地域外来検査センターの決算を見込み減額するもの。検査数は1日当たり最大40件可能であり、最大の件数で予算計上していたが、現時点における実績は合計135件。総務課分、積立金1,235万1,000円は、新型コロナウイルス等感染症対策基金への積立てで、財源内訳は減額補正を行う事業の一般財源分1,199万円、新型コロナウイルス感染症対策への寄附金2件分34万4,000円、サポート寄附金1万7,000円です。特別定額給付金給付事業費の補正は、3,529万3,000円を減額するもので、令和2年9月15日に給付を完了した特別定額給付金に係る事業費について、決算を見込んだ補正である。環境課分としまして、4款衛生費、1項保健衛生費、8目新型コロナウイルス対策費、19節負担金、補助及び交

付金、新型コロナウイルス感染防止対策費助成金 5,490 万円の減額は、決算見込みによる減額で、現状の感染防止対策取組宣言登録事業者数、助成金申請事業者数と、今後申請される事業者数、助成金額に鑑み、当初見込みの事業者数を 1,487 件から 500 件に減じ、予算額 8,550 万円から 5,490 万円を減額して 3,060 万円とするもの。2月25日現在の登録事業者件数は 347 件、助成金申請件数は 146 件、助成金額は 836 万 9,000 円。学校教育課分としまして、10 款教育費、2 項小学校費、4 目新型コロナウイルス対策費、1 1 節需用費、消耗品費 411 万円の増額は、研修用の図書購入費 122 万円、アルコール噴霧器とアルコールの購入費 124 万 1,000 円、そのほか感染症対策の消耗品購入費 164 万 9,000 円。18 節備品購入費、校用器具費 614 万円の増額は、サーモ非接触式体温計噴霧器、スポットクーラー、空気清浄機の各校への整備費用。3 項中学校費も同様に消耗品費 203 万円の増額は、研修用と感染症対策として消耗品購入費。校用器具費 247 万の増額は、サーモ非接触式体温計噴霧器等の購入費です。質疑によって明らかになった事項として、子育て支援課分ですが、感染対策に必要な物品は、これから各保育所等で準備されるが、過去 2 回の事業では空気清浄機や自動手指消毒器、噴霧器等が整備されているということでした。健康増進課分としまして、地域外来・検査センターを通じて、陽性だったのは 6 件あったということです。総務課分の特別定額給付金について、給付の申請に至らずに死亡して、消滅した世帯は 37 世帯、また、辞退の届出を明確にした人は 8 世帯 10 人、宛先不明の人は 25 世帯 25 人、理由は分からないが申請がなかった人は 69 世帯 74 人だったということでした。環境課分としまして、キャッシュレス対応機器の導入はほとんどリースであると事業者から聞いており、基本的に助成金の対象外としたとの説明がありました。学校教育課分としまして、スポットクーラーは小学校 26 台、中学校に 10 台購入する予定で、原則体育館に置くが、校内のほかの場所でも必要に応じて使用する。教職員の研修費は、書籍の購入やオンライン研修等の参加費であるということです。アルコール等感染症対策消耗品はアルコール、マスク、手袋等を考えているということでした。報告は以上です。

(高松秀樹新型コロナウイルス感染症対策分科会長 降壇)

矢田松夫委員長 新型コロナウイルス感染症対策分科会の報告が終わりましたので、これより質疑を行います。質疑はございませんか。(「なし」と呼ぶ者あり) 質疑なしと認めます。それでは討論に入る前に、執行部の出

席を求めますので、ここで若干の休憩を挟み、10時50分から再開をします。定刻までに御参集をお願いします。それでは、休憩に入ります。

午前10時40分 休憩

午前10時50分 再開

矢田松夫委員長 それでは委員会を再開します。議案第1号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第19回）についての討論を行います。討論はありませんか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論なしと認めます。これより議案第1号について、採決します。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

（賛成者挙手）

矢田松夫委員長 全員賛成により、本件は可決すべきものと決定しました。次に承認第1号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）に関する専決処分について及び承認第2号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第18回）に関する専決処分について、新型コロナウイルス感染症対策分科会の審査が終了しましたので、分科会会長の報告を求めます。

（高松秀樹新型コロナウイルス感染症対策分科会長 登壇）

高松秀樹新型コロナウイルス感染症対策分科会長 それでは、新型コロナウイルス感染症対策分科会より報告します。承認第1号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第17回）に関する専決処分について、2月26日、委員全員出席で委員会を開催しました。まず、概要ですが、この補正は児童扶養手当受給世帯等に支給するひとり親世帯臨時特別給付金の増額であり、3款民生費、2項児童福祉費、11目ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業を2,332万3,000円増額し、1億118万7,000円とするものです。国から令和2年12月末日までに支給するよう通知がなされ、予算の補正に特に緊急を要したため、令和2年12月16日に専決処分が行われました。給付金の対象者は令和2年12月11日時点で、既に1回目の給付金を受給している人であり、本市には605人おられた。支給額は1回目と同額で、1世帯5万円に第2

子以降一人につき3万円を加算、12月24日に対象者の口座に振り込まれたということです。受給を拒否した人はおられなかったという説明でした。このひとり親世帯臨時特別給付金の申請期限は1、2回目ともに令和3年2月28日の消印有効となっており、受給要件を満たしているのに、まだ1回目の給付金の受給をしていない人は、期限までに申請すると1回目と2回目の両方が支給される。これに令和3年2月25日時点で、令和2年12月11日以降24人から申請があり、受給要件を満たす人に順次支給されるという説明がありました。次に質疑によって明らかになった事項としまして、13節システム改修委託料264万円は、現在使っている児童扶養手当のシステムに、2回目の支給の記録を残すための改修。次に、現在のシステムを納品した業者と随意契約を行ったということでした。児童扶養手当の受給要件は、被扶養者が一人の場合、年収360万円未満。対象者への周知方法は、市の広報に2回掲載。幼稚園、保育園、小・中・高校生にチラシを配布。公共施設と市内の小児科医院にポスターを掲示。FMサンサンきららのピックアップさんようおのだに担当職員が出演。CM放送を40回程度実施したということでした。続きまして、承認第2号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算（第18回）に関する専決処分についてです。概要としまして、この補正は、新型コロナウイルス感染症のワクチン接種体制の構築に必要なコールセンターと予約受付システムの整備費、その他ワクチン全般に係る令和3年9月までに必要な経費の追加であり、4款衛生費、1項保健衛生費、8目新型コロナウイルス対策費を4億712万4,000円増額し、5億6,300万8,000円とするもの。3月中下旬の予定とされていた高齢者へのワクチン接種券発送後、すぐに予約受付システム等を稼働させる必要があるため、令和3年2月5日に専決処分が行われた。補正の主な内容として、予防接種委託料2億8,804万9,000円は、全市民2回分の接種費用。コールセンター業務委託料5,282万8,000円は、コールセンターで電話7回線を使って、相談や予約受付を行うための費用4,677万7,500円と予約システムの開発費等が605万円。現在想定している接種場所は、基本型接種施設として、集団的な個別接種を行う市内の公的3病院、サテライト型接種施設として個別接種を行う20程度以上の医療機関と、集団接種会場となる公共施設2か所。高齢者の接種券発送の時期が3月下旬へと徐々に後ろにずれていっているが、4月1日以降、ワクチンが供給されたら、接種を開始できるよう現在準備を進めているという説明がありました。次に質疑によって明らかになった事項ですが、コールセンター業務は、接種券の発送からコールセンターの運営、予約管理システムの運

用まで一貫して行う専門業者1社に委託をするということでした。コールセンターの電話番号は広報、ホームページ、各種チラシのほか、接種券に添える案内文で周知する。備品購入費は、主に酸素マスク、酸素ボンベ、救急用ベッドなどを購入するもので、業務終了後は、急患診療所や避難所での活用を考えている。集団接種会場では、接種直後の経過観察を保健師又は看護師が複数人で行う体制を整える予定。医療関係者の接種は県の管轄であるが、接種券は市民全員に送付する。国から接種に向けて市町村が準備すべき事項がある程度示されているが、運用の仕方は、各々市町村で考えて対応している。コールセンターの電話回線は適宜増設するように考えている。ワクチンと注射器の確保と分配は、県が計画を立てるということでした。報告は以上です。

(高松秀樹新型コロナウイルス感染症対策分科会長 降壇)

矢田松夫委員長 新型コロナウイルス感染症対策分科会の報告が終わりましたので、これより質疑、討論、採決を行います。質疑、討論、採決については、1件ずつ行います。まず承認第1号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算(第17回)に関する専決処分について、御質疑はありますか。(「なし」と呼ぶ者あり) 質疑なしと認めます。それでは承認第1号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算(第17回)に関する専決処分についての討論を行います。討論はありますか。(「なし」と呼ぶ者あり) 討論なしと認めます。これより承認第1号について、採決します。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

矢田松夫委員長 全員賛成により、本件は承認すべきものと決定しました。次に、承認第2号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算(第18回)に関する専決処分について、御質疑はありますか。(「なし」と呼ぶ者あり) 質疑なしと認めます。それでは承認第2号、令和2年度山陽小野田市一般会計補正予算(第18回)に関する専決処分について、討論を行います。討論はありますか。(「なし」と呼ぶ者あり) 討論なしと認めます。これより承認第2号について、採決します。本件に賛成の委員の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

矢田松夫委員長 全員賛成により、本件は承認すべきものと決定しました。以上で委員会を閉じさせていただきます。

午前 11 時 散会

令和 3 年 3 月 9 日

一般会計予算決算常任委員長 矢 田 松 夫